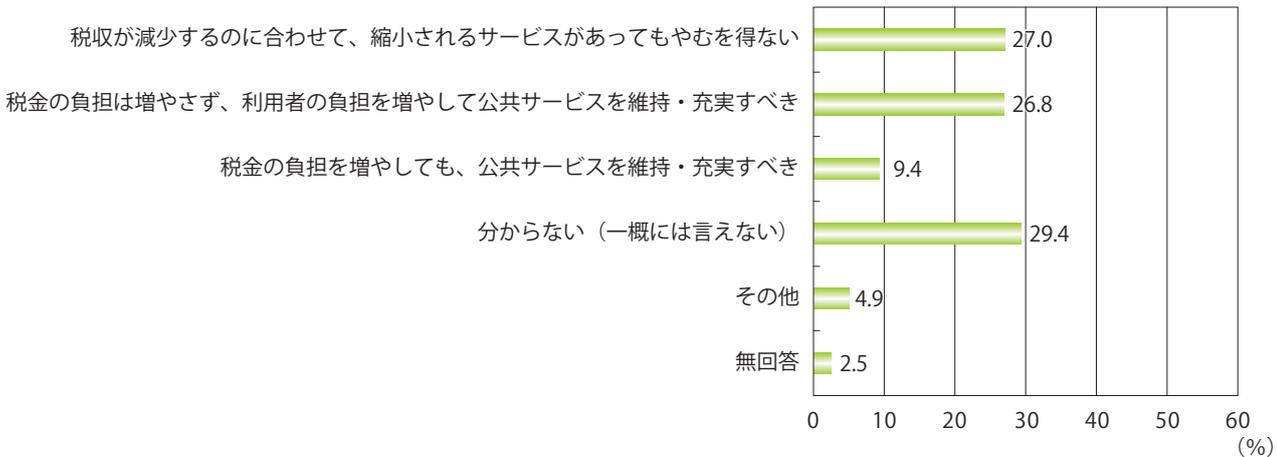


V 分野ごとの計画課題について

【公共サービスのあり方について】

今後、人口減少・少子高齢化などが進行することにより、市の税収が減少し、現在のサービス水準を維持できなくなる恐れがあります。もし、そのようになった場合の公共サービスのあり方について、どのようにお考えになりますか。（1つ選択）

「税収が減少するのに合わせて、縮小されるサービスがあってもやむを得ない」（27.0%）と「税金の負担は増やさず、利用者の負担を増やして公共サービスを維持・充実すべき」（26.8%）が同程度となっています。



【高齢化への対応について】

高齢者が安心して生き生きと過ごせるまちなすのために、どのようなことが大切だと思いますか。（2つまで選択）

「年金や医療保険制度を充実する」（39.0%）が最も多く、次いで「高齢者に対する介護サービスを充実する」（34.4%）となっており、高齢者の暮らしを保障する各種制度と行政サービスが大切と考えられています。また、「高齢者の健康づくりを活発にし、介護予防に力を入れる」「困ったときに気軽に相談できる窓口を充実する」など、日頃から心身の健康を保つための施策も求められています。

